

「資源循環型パッケージングカンパニー」を目ざして

2024年12月期第3四半期決算説明資料



TAKEMOTO

竹本容器株式会社
(東証スタンダード市場 4248)
2024年10月31日

資料構成

1. 2024年12月期第3四半期トピックス

2. 2024年12月期第3四半期業績概要

3. 参考資料



1. 2024年12月期第3四半期トピックス

3Q業績総括 ①

【業績】

- 連結売上高は、119億3百万円 (前年同期比11.2%増)
- 連結営業利益は、7億73百万円 (前年同期比108.1%増)
- EBITDAは、15億48百万円 (前年同期比39.5%増)

【特徴】

- 日本は営業活動の強化を継続、受注金額は大型案件があった前四半期比では減少したものの、前年同期比では増加。リピート案件の後押しもあり増収増益を確保
- 中国は消費者の節約志向は継続しており減収。営業利益は再び赤字計上となるも、生産の自動化を進めることなどでコストコントロールを徹底し、前年比では赤字幅を縮小
- 資源循環型パッケージング売上は28億25百万円(連結売上高の23.7%) と拡大

1. 2024年12月期第3四半期トピックス

3Q業績総括 ②

【日本】

- 売上については、新規顧客・新規案件の開拓へ向け、お客様との接触を強化するなどの活動を継続し、売上高は96億19百万円と前年同期比13.8%増に
- お客様の環境意識が一層高まっていることからバイオマス樹脂やリサイクル樹脂を使用した容器、軽量化容器、Recyclable容器など、資源循環型パッケージング売上が引き続き伸長
- コスト面では、売上増加に伴い原材料費・労務費負担は増加するものの、政府の激変緩和措置により水道光熱費負担は減少
- 営業利益については、売上増による粗利額増加したこと、また販売価格見直しの進展により、7億94百万円（前年同期比37.6%）と増益に

1. 2024年12月期第3四半期トピックス

3Q業績総括 ③

【中国】

- 消費者の節約志向が強まっていることに加えて、化粧品分野の同業他社との競争激化等により、売上高は18億15百万円(前年同期比で4.6%減)となった
- 品質向上や価格競争力強化など生産面での施策に加えて食品分野の顧客開拓など営業面の見直しも図り受注増に向けての取組みを強化中
- 売上高の減少から工場稼働が低下。生産の自動化を進めることなどでコストコントロールを徹底。第3四半期で営業赤字となるも前年同期比で赤字幅は縮小

【インド】

- 売上高は4億13百万円（前年同期比32.5%増）と第3四半期最高額を更新
- 営業拠点の拡大、品揃え強化、生産力向上への設備投資などの施策を継続、さらなる売上と粗利額増加により黒字化確保を目指す

資料構成

1. 2024年12月期第3四半期トピックス

2. 2024年12月期第3四半期業績概要

3. 参考資料



2. 2024年12月期第3四半期業績概要

2024年12月期第3四半期連結決算ハイライト

	2023年第3四半期 (1-9月期) ¥19.62/RMB ¥138.24/USD	2024年第3四半期 (1-9月期) ¥20.99/RMB ¥151.46/USD	前年同期比		2024年計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	百万円 10,703	百万円 11,903	百万円 +1,199	11.2%	百万円 +508	4.5%
営業利益	371	773	+401	108.1%	+157	25.6%
売上高営業利益率	3.5%	6.5%	+3.0P	—	+1.1P	—
経常利益	441	785	+344	78.1%	+169	27.5%
四半期純利益	209	507	+297	142.1%	+115	29.5%
減価償却費	738	774				
原材料費	1,620	1,790				
設備投資額	1,060	434				
(うち 金型)	200	130				
EBITDA	1,110	1,548				
EBITDA比率	10.4%	13.0%				

2. 2024年12月期第3四半期業績概要

地域別グループ企業業績

百万円

日本	2023年第3四半期	2024年第3四半期	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	8,450	9,619	+1,169	+13.8%	+562	6.2%
営業利益	577	794	+217	+37.6%	+176	28.5%
営業利益率	6.8%	8.3%	+1.4P	-	+1.6P	-

中国	2023年第3四半期 ¥19.62/RMB	2024年第3四半期 ¥20.99/RMB	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	1,903 (97)	1,815 (86)	▲88 (▲10)	▲4.6% (▲10.9%)	+29 (+1)	1.6% (0.9%)
営業利益	▲190 (▲9)	▲10 (▲0)	+180 (+9)	- (-)	+118 (+6)	- (-)
営業利益率	-	-	-	-	-	-

※ () 内はRMBベース:百万円

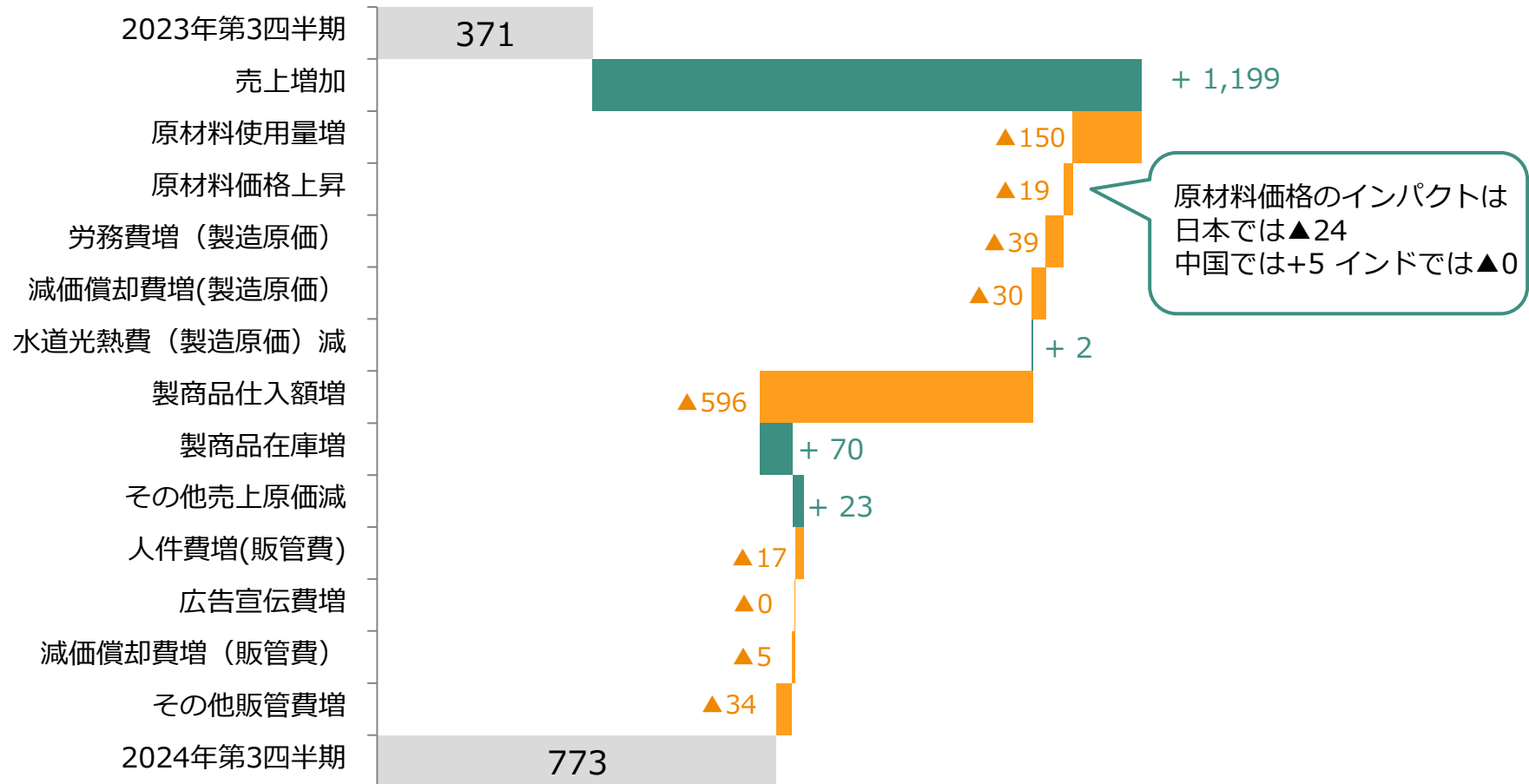
その他地域	2023年第3四半期 ¥138.24/US\$ ¥149.77/€ ¥1.69/INR ¥4.01/TB	2024年第3四半期 ¥151.46/US\$ ¥164.56/€ ¥1.83/INR ¥4.24/TB	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	547	650	+102	+18.7%	▲104	▲11.6%
営業利益	▲20	▲15	+5	-	▲12	-

- ・アメリカは売上が計画比・昨年比減で推移。販促強化による案件増を企図
- ・オランダは売上が計画比減もコスモプロフ展示会からの商談含め問合わせ件数増加中

2. 2024年12月期第3四半期業績概要

2024年12月期第3四半期 営業利益の変動分析

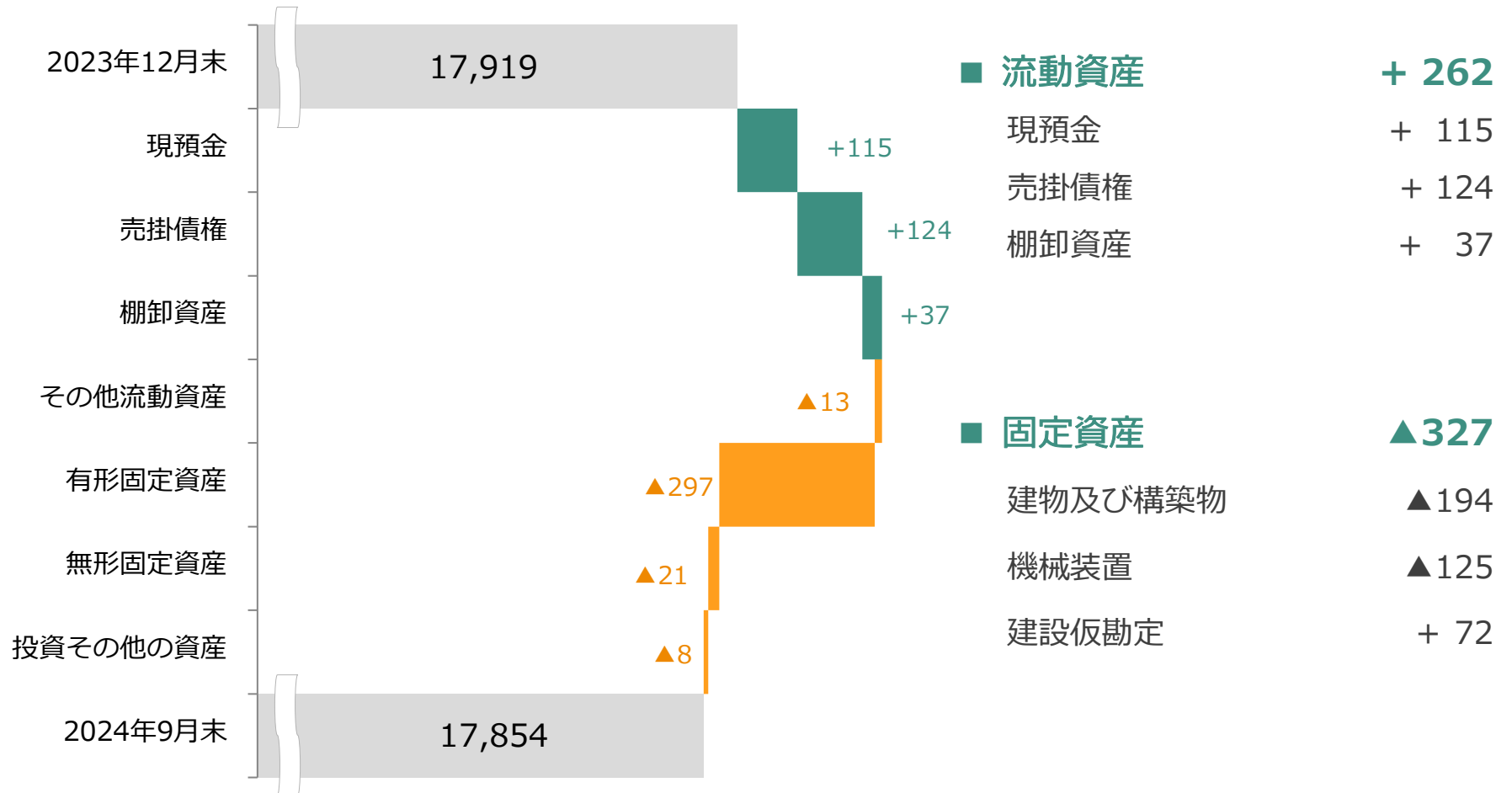
単位：百万円



2. 2024年12月期第3四半期業績概要

2024年12月期第3四半期 連結貸借対照表 資産の部

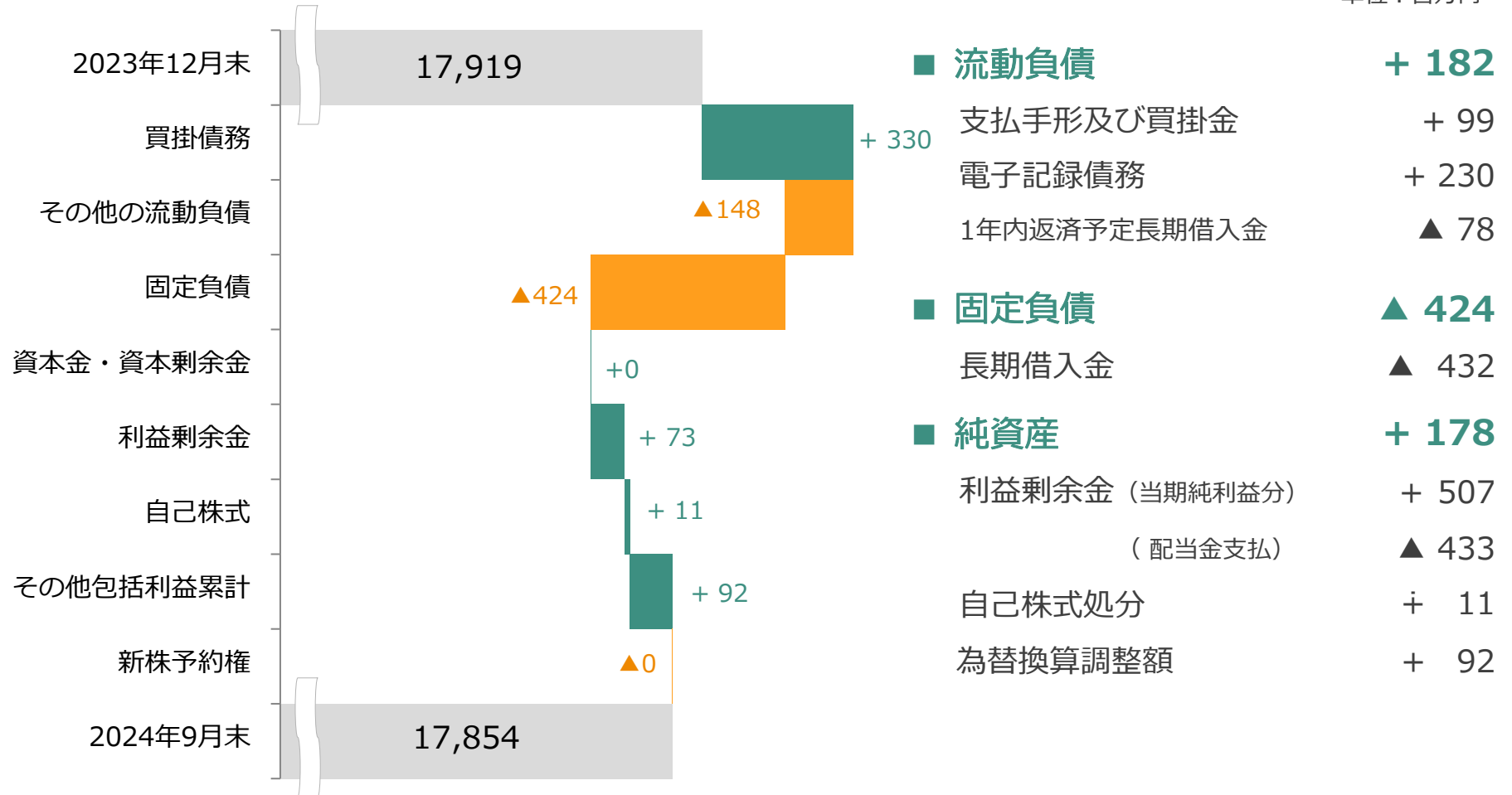
単位：百万円



2. 2024年12月期第3四半期業績概要

2024年12月期第3四半期 連結貸借対照表 負債・純資産の部

単位：百万円



資料構成

1. 2024年12月期第3四半期トピックス

2. 2024年12月期第3四半期業績概要

3. 参考資料



3. 参考資料

地域別グループ企業業績（2022年からの四半期推移）

(百万円)

地域		2022年 第1四半期	2022年 第2四半期	2022年 第3四半期	2022年 第4四半期	2023年 第1四半期	2023年 第2四半期	2023年 第3四半期	2023年 第4四半期	2024年 第1四半期	2024年 第2四半期	2024年 第3四半期
日本	売上高	2,669	2,923	2,885	2,912	2,710	2,921	2,817	2,953	3,066	3,208	3,334
	粗利額	817	881	828	814	756	822	834	859	834	945	920
	営業利益	220	267	225	208	154	191	231	250	205	303	285
中国	売上高	850	650	989	675	714	602	586	530	555	665	594
	粗利額	229	107	182	131	138	77	102	73	149	178	141
	営業利益	59	▲58	▲23	▲36	▲29	▲92	▲69	▲84	▲4	6	▲12
欧米	売上高	70	39	44	51	24	65	79	62	40	49	85
	粗利額	17	13	13	16	8	14	17	18	11	12	22
	営業利益	4	0	0	1	▲7	0	0	0	▲4	▲3	2
その他 アジア	売上高	75	83	89	73	114	130	133	115	152	167	153
	粗利額	11	12	14	16	25	28	22	16	28	36	27
	営業利益	▲9	▲9	▲9	▲13	2	▲2	▲13	▲18	▲3	2	▲7
連結	売上高	3,606	3,653	3,965	3,659	3,502	3,654	3,547	3,613	3,750	4,042	4,110
	粗利額	1,077	1,014	1,040	976	929	943	975	968	1,026	1,169	1,112
	営業利益	277	202	195	161	122	98	151	159	197	305	270

3. 参考資料

地域別グループ企業業績（2019年からの年間推移）

(百万円)

地域		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
		金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
日本	売上高	11,741	▲2.7%	11,651	▲0.8%	12,005	+3.0%	11,390	▲5.1%	11,403	+0.1%
	粗利額	3,730	+1.7%	3,917	+5.0%	3,942	+0.6%	3,341	▲15.2%	3,272	▲2.1%
	営業利益	1,277	+2.8%	1,429	+11.9%	1,485	+3.9%	922	▲37.9%	827	▲10.3%
中国	売上高	3,438	▲12.3%	3,149	▲8.4%	3,544	+12.5%	3,165	▲10.7%	2,434	▲23.1%
	粗利額	1,003	▲9.0%	993	▲1.0%	971	▲2.2%	651	▲33.0%	391	▲39.8%
	営業利益	433	▲15.8%	472	+8.9%	335	▲29.0%	▲59	—	▲274	—
欧米	売上高	164	▲43.0%	184	+12.0%	297	+61.2%	206	▲30.5%	231	+12.0%
	粗利額	40	▲40.8%	41	+1.7%	62	+49.4%	60	▲2.1%	57	▲4.9%
	営業利益	▲31	—	▲10	—	3	—	7	+147.8%	▲7	—
その他 アジア	売上高	69	+106.5%	109	+57.7%	181	+64.7%	321	+77.6%	493	53.4%
	粗利額	▲49	—	▲39	—	2	—	55	+2,472%	93	66.9%
	営業利益	▲147	—	▲119	—	▲74	—	▲41	—	▲31	—
連結	売上高	15,196	▲5.2%	14,863	▲2.2%	15,776	+6.1%	14,885	▲5.6%	14,317	▲3.8%
	粗利額	4,726	▲1.9%	4,912	+3.9%	4,979	+1.4%	4,107	▲17.5%	3,818	▲7.1%
	営業利益	1,538	▲5.7%	1,778	+15.6%	1,754	▲1.3%	836	▲52.4%	522	▲37.6%

3. 参考資料

区分別販売実績（2022年からの販売先の主要事業内容ごとの四半期推移）

(百万円)

	2022年 第1四半期	2022年 第2四半期	2022年 第3四半期	2022年 第4四半期	2023年 第1四半期	2023年 第2四半期	2023年 第3四半期	2023年 第4四半期	2024年 第1四半期	2024年 第2四半期	2024年 第3四半期
化粧・美容	2,109	2,293	2,315	2,219	1,998	2,192	2,090	2,133	2,345	2,593	2,638
日用・雑貨	217	205	215	206	263	255	237	229	257	249	255
食品・ 健康食品	323	326	346	339	337	388	341	320	348	390	383
化学・医薬	200	199	217	188	194	180	212	199	239	186	257
卸、その他	754	628	870	706	707	637	664	730	559	622	576
合計	3,606	3,653	3,965	3,659	3,502	3,654	3,547	3,613	3,750	4,042	4,110

区分別販売実績（2022年からの製商品の内訳ごとの四半期推移）

(百万円)

	2022年 第1四半期	2022年 第2四半期	2022年 第3四半期	2022年 第4四半期	2023年 第1四半期	2023年 第2四半期	2023年 第3四半期	2023年 第4四半期	2024年 第1四半期	2024年 第2四半期	2024年 第3四半期
スタンダード ボトル	2,769	2,759	2,974	2,743	2,677	2,848	2,716	2,723	2,687	3,091	3,063
ビスポーク	312	292	385	312	333	304	329	337	376	363	364
他社製品	483	589	550	565	465	475	471	524	632	543	653
材料その他	40	12	54	38	25	26	29	27	54	44	29
合計	3,606	3,653	3,965	3,659	3,502	3,654	3,547	3,613	3,750	4,042	4,110

3. 参考資料

区分別販売実績（2019年からの販売先の主要事業内容ごとの年間推移）

2019年は旺盛なインバウンド需要後、中国EC規制がきっかけとなり化粧品需要が減少。さらに容器不足に起因する先行調達の反動もあり売上高は大幅減少。2020年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、外出機会の減少による化粧品向け需要が減少。一方、衛生関連用品の需要は増加。2021年は資源循環型パッケージの伸びが後押しし化粧品向けを中心に売上が拡大。2022年は3月までの行動制限の影響や感染者数増加の影響もあり、化粧品需要が本格的に回復せず。中国では3月下旬からのロックダウンの影響や12月のゼロコロナ政策解除により新規感染者数が拡大し消費が低迷。2023年は国内売上は4Qの受注が増加が寄与し増収に。一方中国はゼロコロナ解除後も消費回復が鈍く在庫調整が長期化。中国国内での競争も激化。インドは需要が旺盛で売上高は順調に拡大中

(百万円)

	2019年			2020年			2021年			2022年			2023年		
	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
化粧・美容	8,802	57.9	▲8.8	8,147	54.8	▲7.4	8,904	56.4	9.3	8,938	60.0	0.4	8,415	58.8	▲5.8
日用・雑貨	705	4.6	1.0	1,019	6.9	44.5	930	5.9	▲8.7	845	5.7	▲9.1	986	6.9	16.6
食品・健康食品	1,385	9.1	5.7	1,347	9.1	▲2.8	1,470	9.3	9.1	1,335	9.0	▲9.2	1,389	9.7	4.0
化学・医薬	812	5.3	▲3.1	906	6.1	11.7	1,096	7.0	20.9	805	5.4	▲26.5	786	5.5	▲2.4
卸、その他	3,490	23.0	▲1.0	3,442	23.2	▲1.4	3,374	21.4	▲2.0	2,960	19.9	▲12.3	2,740	19.1	▲7.4
合計	15,196	100.0	▲5.2	14,863	100.0	▲2.2	15,776	100.0	6.1	14,885	100.0	▲5.6	14,317	100.0	▲3.8

3. 参考資料

受注実績（2022年からの四半期推移）

(百万円)

	2022年 第1四半期	2022年 第2四半期	2022年 第3四半期	2022年 第4四半期	2023年 第1四半期	2023年 第2四半期	2023年 第3四半期	2023年 第4四半期	2024年 第1四半期	2024年 第2四半期	2024年 第3四半期
国内	2,904	3,086	2,894	2,956	2,909	3,026	3,005	3,405	3,253	3,535	3,025
海外	787	926	865	819	797	709	677	749	896	781	794
(うち中国)	676	781	735	678	640	525	492	571	668	549	566
連結合計	3,691	4,012	3,760	3,775	3,707	3,735	3,683	4,155	4,155	4,310	3,819

受注実績（2019年からの年間推移）

2019年はインバウンド需要による受注増加後、容器不足に起因する先行調達の反動と中国のEC規制の影響で受注は大きく低迷。2020年は新型コロナウイルス感染症の影響により外出機会が減少し、化粧品向け需要が減少するも衛生関連用品の需要が増加。2021年は資源循環型パッケージングの需要増あり。年度後半は第5波の影響もあり国内受注が減少。2022年は国内は3月までの行動制限の影響や下期の第7波、8波の影響もあり、化粧品需要が本格的に回復するまでには至っていない状況。中国はゼロコロナ政策による移動制限の影響で需要が停滞。12月にはゼロコロナ政策撤廃も先行き懸念残り消費停滞、受注は大幅減。2023年は国内のインバウンド需要を背景に4Qの受注が増加。一方中国はゼロコロナ政策解除後も消費回復が鈍く在庫調整が長期化。中国国内での競争も激化し受注は低迷。インドは需要が旺盛で受注増で推移

(百万円)

	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
	受注高	増減率	受注高	増減率	受注高	増減率	受注高	増減率	受注高	増減率
国内	10,815	▲20.5%	12,454	15.2%	12,274	▲1.4%	11,841	▲3.5%	12,347	4.2%
海外	3,812	▲1.6%	3,597	▲5.6%	4,034	12.1%	3,398	▲15.7%	2,934	▲13.7%
(うち中国)	3,598	▲0.3%	3,258	▲9.5%	3,504	7.6%	2,871	▲18.1%	2,229	▲22.3%
連結合計	14,627	▲16.3%	16,051	9.7%	16,308	1.6%	15,240	▲6.5%	15,282	2.3%

3. 参考資料

為替レート (PL使用レート)

	2022年 第1四半期	2022年 第2四半期	2022年 第3四半期	2022年 第4四半期	2023年 第1四半期	2023年 第2四半期	2023年 第3四半期	2023年 第4四半期	2024年 第1四半期	2024年 第2四半期	2024年 第3四半期
円／元	18.31	18.97	19.38	19.50	19.35	19.46	19.62	19.82	20.63	21.07	20.99
円／米ドル	116.34	123.14	128.30	131.62	132.42	135.00	138.24	140.67	148.63	152.36	151.46
円／ユーロ	130.40	134.39	136.05	138.14	142.16	145.93	149.77	152.11	161.33	164.70	164.56
円／ルピー	1.56	1.62	1.67	1.68	1.62	1.65	1.69	1.71	1.80	1.84	1.83
円／バーツ	3.52	3.65	3.70	3.75	3.91	3.95	4.01	4.04	4.17	4.21	4.24

3. 参考資料

金型開発状況 金型の資産状況

4,054型の保有金型のうち9割は償却済み、収益の源泉であり財務効率に優れる。オランダの金型は日本へ移動

		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年3Q (金型数)
日本	完成金型数	123	59	97	93	65	116	51
	廃却・移動	▲54	▲80	▲99	▲16	▲30	▲53	▲10
	保有金型数	2,342	2,321	2,319	2,396	2,431	2,494	2,535
中国	完成金型数	96	74	84	89	32	37	27
	廃却・移動	9	7	▲159	▲8	▲19	▲15	-
	保有金型数	1,103	1,184	1,109	1,190	1,203	1,225	1,252
オランダ	完成金型数	-	19	4	-	-	-	-
	廃却・移動	-	-	-	▲23	-	-	-
	保有金型数	-	19	23	-	-	-	-
インド	完成金型数	18	27	48	45	31	35	31
	廃却・移動	-	-	-	-	-	23	9
	保有金型数	18	45	93	138	169	227	267
連結	完成金型数合計	237	179	233	227	128	188	109
	保有金型数	3,463	3,569	3,544	3,724	3,803	3,946	4,054
		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年3Q (百万円)
連結取得金額		4,875	4,827	4,654	5,003	5,220	5,541	5,798
連結減価償却累計額		▲4,147	▲4,175	▲4,163	▲4,453	▲4,743	▲5,113	▲5,199
連結金型(純額)		727	651	490	550	477	540	599
純額割合		14.9%	13.5%	10.3%	11.0%	9.1%	9.8%	10.3%



竹本容器株式会社
代表取締役社長
竹本 笑子

会社名 竹本容器株式会社
Takemoto Yohki Co., Ltd.

設立年月 1953年5月19日（昭和28年）

代表者 代表取締役社長 竹本 笑子

所在地 東京都台東区松が谷2丁目21番5号

事業内容 容器の企画・開発・製造・販売

資本金 8億342万1,725円（2024年6月30日現在）

発行済株式数 12,529,200株（2024年6月30日現在）

単元株主数 11,013名（2024年6月30日現在）

グループ従業員数 798名（2024年6月30日現在）

上場市場 東京証券取引所スタンダード市場
[証券コード：4248]

ホームページ <https://www.takemotopkg.com>



JQA-FC0115
結城事業所
食品用プラスチック
容器の製造
(印刷製品は除く)



JMAQA-F 477
JMAQA-FC 376
岡山事業所
食品用プラスチック
容器の製造



本社



合羽橋ショールーム



大阪営業所・ショールーム



福岡営業所・ショールーム



名古屋営業所・ショールーム



北海道営業所



TOGETHER LAB

本資料に掲載されている将来に関する記述の部分は、資料作成時において当社が各種情報により判断した情報ではありますが、その内容を当社として保証するものではありません。

予想数字等は、今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。また、本資料は投資勧誘を目的に作成したものではありません。投資を行う際は、ご自身のご判断で行って頂きますようお願い申し上げます。

すべては “ Standout ” な
パッケージングソリューション
創造のために